

月曜日

6

## いちばん この世で一番

しゅくふく

## 祝福の出会いを味わいましょう

### きょうのみことば

使徒 2:9-11

わたし  
私たちは、パルテヤ人、  
メジャ人、エラム人、  
またメソポタミヤ、  
ユダヤ、カパドキヤ、  
ポントとアジア、  
フルギヤとパンフリヤ、  
エジプトとクレネに近い  
リビヤ地方などに住む者  
たち、また滞在中の  
ローマ人たちで、ユダヤ  
人もいれば改宗者もいる。  
またクレテ人とアラビヤ  
人なのに、あの人たちが、  
わたし  
私たちのいろいろな  
国ことばで神の大きな  
みわざを語るのを  
聞こうとは。

10日だけ寝れば、お父さん、お母さんと遊園地に遊びに行く日になると想像してみてください。期待をふくらませて、一日一日を指折り数えて待つのではないのでしょうか。イエス様が、天に昇りながら、聖霊に会うようになる、初代教会に話されました。初代教会はその日だけを祈りながら指折り数えて待ったのです。

### 1. 出会いの重要性

人生を生きていたら、多くの出会いを持つようになります。生まれるやいなや、両親に会って、学校で先生と友人に会って、教会で牧師先生と伝道者に会います。ところで、だれに会うかにしたがって、幸せと不幸せ、成功と失敗が決定されます。それで、だれに会うのが重要です。

### 2. 失敗する出会い

悪い友だちに会って、曲った道に行く友だちがいます。詐欺師に会って大きく損をする大人たちもいます。神様を離れた人は、このように望んでいなくても、どんどん失敗する出会いを持ちます。

### 3. 祝福された出会い

神様の子どもは、いのちを生かして、弟子を立てる祝福された出会いを持ちます。まるでマルコの屋上の間に集まった120人と15ヶ国から来た人々との出会いのように、ペテロ・ヨハネと足のきかない者との出会いのように、ピリポとエチオピア宦官との出会いのように、行く所ごとに祝福された出会いを味わいます。

神様、聖霊さまが導いてくださる祝福の出会いを味わわせてください。出会うすべての人に福音を伝えて、現場を生かすレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✿ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

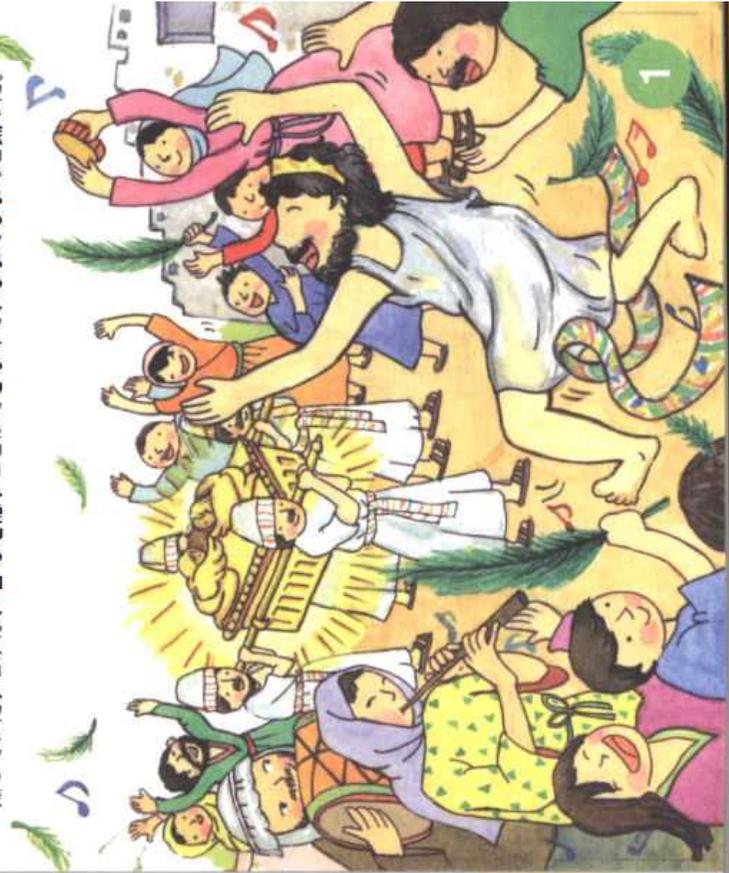


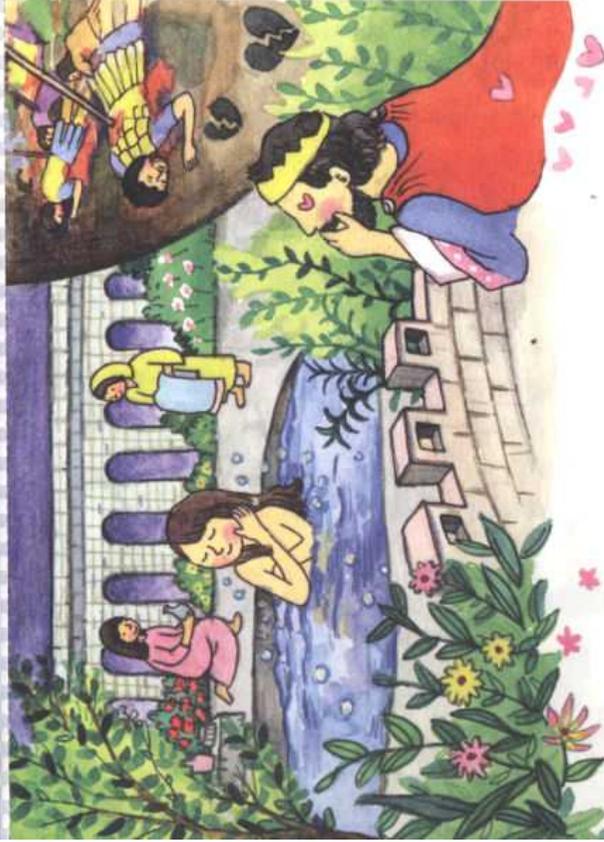
## イスラエルの 王になった ダビデ

**結局**、アブシャロムの反乱は失敗に終わった。ヨアブ將軍は、逃げて行くときに聖の木に髪が引かかったアブシャロムを殺した。その知らせを聞いたダビデは、心が裂けるように痛くなった。しかし、ダビデ王国の不幸は終わらなかつた。自分の業績を誇ろうと人口調査をしてイスラエルに災いがくいだされたのだ。ダビデは、自分のあやまりを悔い改めて、アラウナの打ち場で全焼のいけにえをささげた。すると、災いはすぐにおさまった。

サムエルに油をそそがれたダビデは、約束のとおりイスラエルの王になった。しかし、サウル王と彼の息子ヨナタンが死んだという知らせを聞いて、自分の服を破りながら悲しんだ。ダビデは、サウル王と愛する友人ヨナタンをたたえながら歌を作って歌った。

王になったらダビデは、契約の箱を町の中に移した。契約の箱の真の意味を知っていたダビデは、喜びを隠すことができなくて、びよんびよんと踊った。





歳月さいげつがすぎて、あたたかい春の日がやってきました。勝利しょうりが続いたので、  
 ダビデの王国は揺れることがないように見えた。それで、ダビデは戦場せんじょうに  
 出て行かずに、王宮おうきゆうにいた。

そのようなある日の夕方、王宮の屋上おくじょうを歩いていたダビデは、一人の女が  
 からだを洗っているのを見た。その女は、ダビデの忠実な部下ウリヤの妻  
 パテ・シェバであった。パテ・シェバに一目ぼれしてしまったダビデは、  
 ウリヤや将軍を戦場で死ぬようにさせた。

神様は、ダビデのあやまちをしかるために、預言者ナタンよげんしやを送られた。  
 ダビデは、神様の前に心から自分のあやまちを悔い改めた。

「王子様、ダビデ王を追い出して、王子様が王にならなければなりません」  
 臣下しんかがアブシャロムを訪ねてきて話した。アブシャロムは、臣下の言うことを  
 聞いて、お父さんであるダビデを追い出すことに決心した。その知らせは、  
 すぐにダビデ王に伝えられた。

「陛下へいか、アブシャロム王子が、反逆はんぎやくをくわだてています。イスラエルの人々が  
 王子を従したがいはじめました」

ダビデは、とても苦しかった。それで息子アブシャロムを生かすために町を  
 すてて逃げた。

逃げるダビデ王を見たシムイは、ダビデを呪った。しかし、ダビデは彼の  
 言葉ことばを神様の御声だと聞いた。



火曜日  
7

## さいごう しあわ 最高の幸せをプレゼントされました

人々は<sup>しあわ</sup>幸せになりたがって、ずっと<sup>しあわ</sup>幸せにいるために、<sup>はりよく</sup>努力します。と  
ここで、レムナントのみんなは、いつ一番<sup>いちばんしあわ</sup>幸せですか。

### きょうのみことば

詩 78:70~72

主はまた、しもベダビデを  
選び、<sup>ひつじ</sup>羊のおりから彼を  
召し、<sup>ちち</sup>乳を飲ませる雌羊の  
番から彼を連れて来て、  
御民ヤコブとご自分の  
ものであるイスラエルを  
<sup>ぼく</sup>牧するようにされた。  
彼は、正しい心で彼らを  
<sup>ぼく</sup>牧し、<sup>えいち</sup>英知の手で彼らを  
<sup>みちび</sup>導いた。

#### 1. すぐになくなるちょっと少しの間の喜び

ゲームして、音楽を聞いて、おこずかいを使って、友だちといたずらをする  
時が、一番<sup>いちばんしあわ</sup>幸せでしょうか。こういう<sup>しあわ</sup>幸せは、ちょっと少しの間の<sup>もろ</sup>喜  
びです。サタンはしばらく少しの間の<sup>もろ</sup>喜びをあたえて、最高の<sup>しあわ</sup>幸せをう  
ばっていきます。

#### 2. 神様がくださった最高の幸せ

神様の子どもは、神様がくださった<sup>さいごう</sup>最高の<sup>しあわ</sup>幸せを持って生きて行きます。  
最高の<sup>さいごう</sup>幸せを持ったヨセフは奴隷になっても、<sup>つみりと</sup>罪人になっても<sup>しあわ</sup>幸せでし  
た。最高の<sup>さいごう</sup>幸せを持っていたモーセは、堂々とパロ王に行って、神様の  
みことばを<sup>せんげん</sup>宣言しました。テモテは、キリストの中にある<sup>めく</sup>恵みの中で<sup>まこと</sup>真の  
<sup>しあわ</sup>幸せを味わいました。この<sup>さいごう</sup>最高の<sup>しあわ</sup>幸せが、まさにレムナントが味わわな  
ければならない<sup>しあわ</sup>幸せです。

#### 3. レムナントが味わう最高の幸せ

ダビデは、サウル王の<sup>はくがい</sup>迫害と<sup>かずおほ</sup>数多くの<sup>こんなん</sup>困難の中でも、王になるという<sup>きぼう</sup>希望  
を抱いてすべてのことを<sup>たえ</sup>耐えました。レムナントも、<sup>ていこくのり</sup>定刻祈りの時間に、  
ダビデのように<sup>みらい</sup>未来に対する<sup>きぼう</sup>希望をもって<sup>か</sup>絵を描いてみてください。<sup>じけん</sup>事件  
とできごと、そして、すべての<sup>じようじいの</sup>出会いを<sup>じょうじいの</sup>常時祈りを通して<sup>こたへ</sup>答えて味わって  
みてください。<sup>らい</sup>礼拝祈りを通して、六日間、神様がくださる<sup>こたへ</sup>解答を見つけ  
てください。<sup>ふかい</sup>深い祈りを通して世の中に<sup>かつ</sup>勝つ<sup>ちから</sup>大きい力を<sup>う</sup>得てみてくだ  
さい。まさにこれがレムナントが味わう<sup>さいごう</sup>最高の<sup>しあわ</sup>幸せなのです。

福音にあつて<sup>さいごう</sup>最高の<sup>しあわ</sup>幸せをあたえてくださった父なる神様に感謝します。私の中にある<sup>わたくし</sup>幸せを<sup>つた</sup>伝  
えて、どんな<sup>かんきよう</sup>環境も<sup>いの</sup>祈りで<sup>しょうり</sup>勝利するレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によ  
つて<sup>いの</sup>お祈りします。アーメン

★<sup>ていこくのり</sup>定刻祈りの<sup>てんけん</sup>点検：昼 12 時 教会のために<sup>いの</sup>祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために<sup>いの</sup>祈りましょう





水曜日

8

## わたし ひつよう しんこう 私にかならず必要な信仰

とうとうイスラエルの民は奴隷生活をしていたエジプトから抜け出しました。しかし、まだ約束の地であるカナンに行くだけの信仰がありませんでした。それで、神様はイスラエルの民にいろんな事件に出会うようにされ、大きな信仰を備えさせられたのでした。

### きょうのみことば

出 14:1-13

民の逃げたことがエジプトの王に告げられると、パロとその家臣たちは民についての考えを変えて言った。「われわれはいったい何ということをしたのだ。イスラエルを去らせてしまい、われわれに仕えさせないとは」(5)

#### 1. 指導者は正しい信仰を持たなければなりません

これからレムナントは、教会の内や外で多くの人々をリードして行く指導者として立つようになるでしょう。指導者の位置に立つレムナントは、モーセのように神様の力を体験する正しい信仰を持たなければなりません。そうすれば、どんなことに会っても、揺れないで信仰で現場で勝利します。

#### 2. 神様の子どもは本当に信仰を告白しなければなりません

したくないけれど、前に立った人の話に従わなければならない時があります。その時、絶対に不平を言ったり、いらいらして怒ったりしないでください。「私は神様の子どもです!」と言いながら、信仰の告白をしてみてください。そして、かっこうよく、従ってみましょう。祝福の道に導いてくださる神様の助けを体験するようになるでしょう。

#### 3. 神様の計画を悟るのが本当の信仰です

神様はレムナントがほろびるように、そのまま放っておかれません。神様の大きい喜びになるように、最後まで導いて、神様の計画の中で福音のエリートとして立てて、行く歩みごとに、みことばと祈りで、神様の力を体験させてくださいます。これを毎日、味わうことが本当の信仰なのです。

私といつもいっしょにいて、私のために力で働いてくださる神様に感謝します。いつもいつも祈って信仰をもっと強く持つことができるように助けてください。毎日、私に力をあたえてくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✿ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



神様の力を信じた  
伝道王ヨハンを知っていますか

ぼくは、まったく伝道をしなかった。でも「子どもの祈りの手帳」を見ると「ぼくも伝道ができるのかな」という心になってきた。それで「子どもの祈りの手帳」を友だちにプレゼントしたら、友だちがぼくの教会に来た。ぼくは、このことをきっかけに、神様がぼくと永遠にいっしょにおられる事実と神様は、力の神様であるという事実をもっと信じるようになった。そして、ぼくの友だちに「ぼくたちは、力ある神様の子どもであることを忘れてはならない！」と言いたくなった。

これから、イエス様を信じない友だちと、イエス様を信じたいけれど、教会に来ていない友だちに「子どもの祈りの手帳」をプレゼントしてみるつもりだ。プレゼントしても、イエス様を信じず、教会に来ないなら、以前に講壇で伝道師先生がおっしゃったとおり「祈ればできないことははい」という事実をにぎって祈らなければならない。

ぼくは伝道王になりたい。「子どもの祈りの手帳」を友だちにプレゼントすることで終わらず、福音を大胆に伝える伝道王になるということだ。このように伝道をたくさんしてみたら、大きくなったら、世界福音化に尊く用いられる宣教師になっているかもしれない。



## のろいから抜け出そう

神様は悪を行う人にのろいをくだされ、善を行う人に祝福して下さるお方です。神様に立ったことが「善」で、神様に反対することが「悪」です。私たちは神様に敵対して、のろいから抜け出して、神様を見上げる祝福を受けたレムナントです。

### きょうのみことば

ローマ 2:1 ~ 16

ですから、すべて他人をさばく人よ。あなたに弁解の余地はありません。あなたは、他人をさばくことによって、自身を罪に定めています。さばくあなたが、それと同じことを行なっているからです。

(1)

### 1. 神様は聖霊様を送って下さいました

神様が大きい愛をあたえてくださった、私たち罪から救い出されました。神様は世の中に勝って答えを受ける祝福の座に私を導かれました。イエス・キリストの名前で送られた聖霊様が、私たちを助けて導いてくださいます。

### 2. 聖霊様が霊的頂上にご導いて下さいます

聖霊様の助けによって、霊的頂上にあがります。山の頂上から見下ろせば世の中がひと目でみな見えてくるように、霊的頂上から見れば、神様のみこころと計画がひと目で見えてきます。現場に起きるすべてのことが神様の計画で、私を福音エリートとして完成していかれる過程だという事実が信じられます。

### 3. サタンにだまされないように注意しましょう

聖霊様の助けを受けて、神様が導かれる道を行く中でも、サタンはまちがいなく妨害します。特に不平不満とがっかりすること、他の人に対してさばくという手法で、レムナントの心と思いを乱れさせます。それで、レムナントは心と思いを守ってくださいと祈らなければなりません。

私に聖霊様を送って下さって祝福の場に導いてくださる神様に感謝します。もっと神様に近づいて、神様が導いてくださる道を行き、のろいにひっぱるサタンにだまされないように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



# 神様があたえてくださる祝福

サタンは神様の子どもに勝つことができないことを知って  
ただ、一つの方法でだけ攻撃します。それが心を倒す  
方法です。神様がくださった祝福七つを机にはって置いて  
毎日毎日折りで味わってみましょう。

## ひとつ

私の中に神様の  
雷である聖霊様がともにおられます。  
ですから、ぜったいにほろびることは  
ありません。

## ふたつ

聖霊様は私の  
人生を導いてくださいます。  
だから、心配することはありません。



## みっつ

聖霊様は私の中で  
働き、私を守って、どんな困難と  
戦ってくれています。  
だから、私を助けてくれます。

## よっつ

主の天の軍隊と  
み使いが私を守ってくれます。  
そして、助けてくれます。



## いっつ

天国の祝福、  
神の国が私が行くところごとに  
のぞみます。

## むっつ

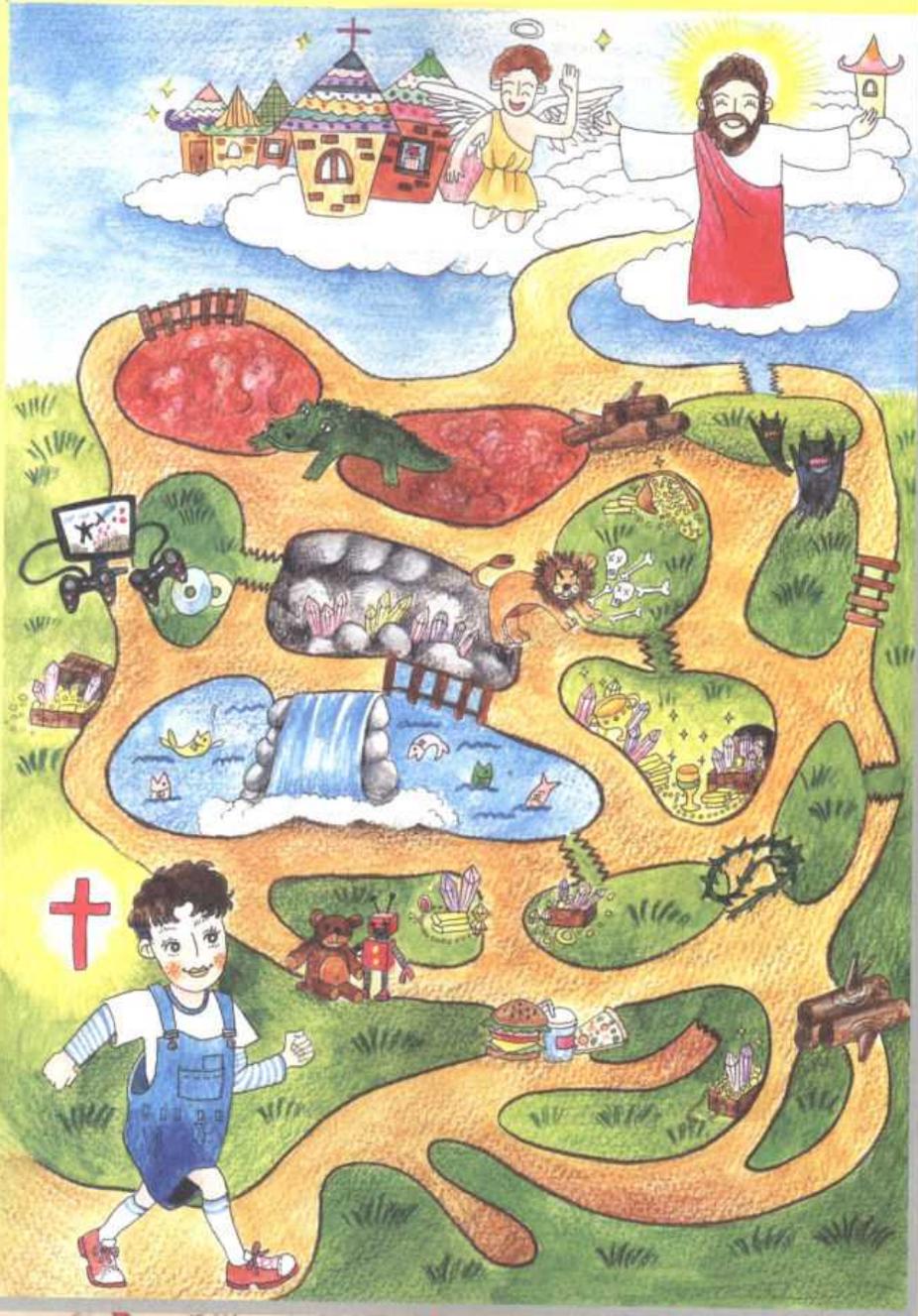
神様が私を愛して、  
私を助けてくれます。  
ですから、心配することはありません。

## ななつ

神様がそなたを  
愛して、私が行くところ  
ごとにそなたを愛してくれています。



せいれいさま みちび  
聖霊様の導きにしがって、道を行こう！



金曜日  
10

## かこぬ 過去から抜け出そう

親孝行は、お父さん、お母さんが生きていなければならないまま  
せん。お父さん、お母さんが亡くなってからする先祖供養は、たとえ  
伝統行事であっても、やめなければならないことです。なぜなら、サ  
タンがお父さん、お母さんを使って人々をだましている戦略だから、  
です。

### きょうのみことば

ヨハネ 1:2

愛する者よ。あなたが、  
たましいに幸いを得て  
いるようにすべての  
点でも幸いを得、また  
健康であるように  
祈ります。

#### 1. まず霊的な力を体験しましょう

神様の子どもの心の中には聖霊様がおられます。聖霊様が神様の子どもを導いて、霊的な力(霊力)、知恵の力(知力)、健康の力(体力)、経済的な力(経済力)、出会いの祝福(人材)をあたえてくださいます。レムナントは、この霊的な力を毎日、体験しなければならない。

#### 2. 霊的な力を得てこそ、一生の祝福を発見します

霊的な力を得れば、一生の祈りの課題と伝道の方角と献金計画を発見することができます。このようなものなどを発見する時、私を生かす定刻祈りと、現場で勝利する常時祈りとみことばが成就する礼拝祈りになります。これがレムナントが一生味わわなければならない祝福です。

#### 3. 過去から完全に抜け出すことができます

過去で完全に抜け出さないという言葉は、誤った習慣、考え、体質をみな変えなさいということです。祈りの中で神様があたえられる力を得れば、過去から抜け出して、現場で大小の答えを発見できます。そして、傷という過去の障害物が、むしろ答えと祝福という未来の土台であることをさとるようになります。

過去のよくない習慣と考えと体質を変えて、未来の土台にさせてくださって感謝します。聖霊様が働かれることを体験して、力を受ける一日になるように働いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



11日(土)

# れつ、れつ、れつに よくならぼう

綿策<sup>わたさく</sup>字<sup>じ</sup>を広げたようなうすい雲<sup>くも</sup>が、暑<sup>あつ</sup>さをさっとなくすようだ。道<sup>みち</sup>にそってずらっと立っている、柳<sup>やなぎ</sup>の木<sup>き</sup>が私<sup>わたし</sup>たちの家族<sup>かぞえ</sup>を喜<sup>よろこ</sup>ぶようにそよそよと揺<sup>ゆ</sup>れていた。ところで、車<sup>くるま</sup>の速度<sup>そくど</sup>が遅<sup>おそ</sup>くなって、すぐ止<sup>と</sup>まってしまった。車<sup>くるま</sup>がなぜこんなに多いのかなか、これから進<sup>すす</sup>んでいくようには見えなかった。

休日<sup>きゅうじつ</sup>になって、遊園地<sup>うえんち</sup>へ向<sup>むか</sup>う車<sup>くるま</sup>がいっぱいだったのだ。

「パパ、こんなのじゃ、時間がすぎてしまうよ」

「私<sup>わたし</sup>は、おしっこがしたくてたまらない」

「おまえたち、この道<sup>みち</sup>だけ抜け出<sup>で</sup>れば、すぐに到着<sup>とちやく</sup>するから、少しだけ待<sup>まち</sup>とうね」

つい<sup>つい</sup>に到着<sup>とちやく</sup>した私<sup>わたし</sup>たちは、入場券<sup>にゅうじょうけん</sup>を買い<sup>か</sup>に行<sup>い</sup>った。入場券<sup>にゅうじょうけん</sup>を買い<sup>か</sup>うところは、まるでこんがらかった糸<sup>いと</sup>のからみ合い<sup>かみあひ</sup>のように、からまっていた。

「ママ、入場券<sup>にゅうじょうけん</sup>を買い<sup>か</sup>うだけで、もう疲<sup>つか</sup>れたね」

私<sup>わたし</sup>がぶうぶうと言<sup>い</sup>ったら、ママは私<sup>わたし</sup>の手<sup>て</sup>をぎゅっとにぎって言<sup>い</sup>った。

「道<sup>みち</sup>に迷<sup>まよ</sup>ってはいけなから、シンジはパパの手<sup>て</sup>をにぎって、マリはママの手<sup>て</sup>をしっかりとにぎってね」

口<sup>くち</sup>をとがらせた私<sup>わたし</sup>は、何も言<sup>い</sup>わなかった。

大変<sup>たいへん</sup>な思<sup>し</sup>いをして入場券<sup>にゅうじょうけん</sup>を買い<sup>か</sup>って入<sup>い</sup>った

私<sup>わたし</sup>たちは「何<sup>なに</sup>に乗<sup>の</sup>ろうか」と

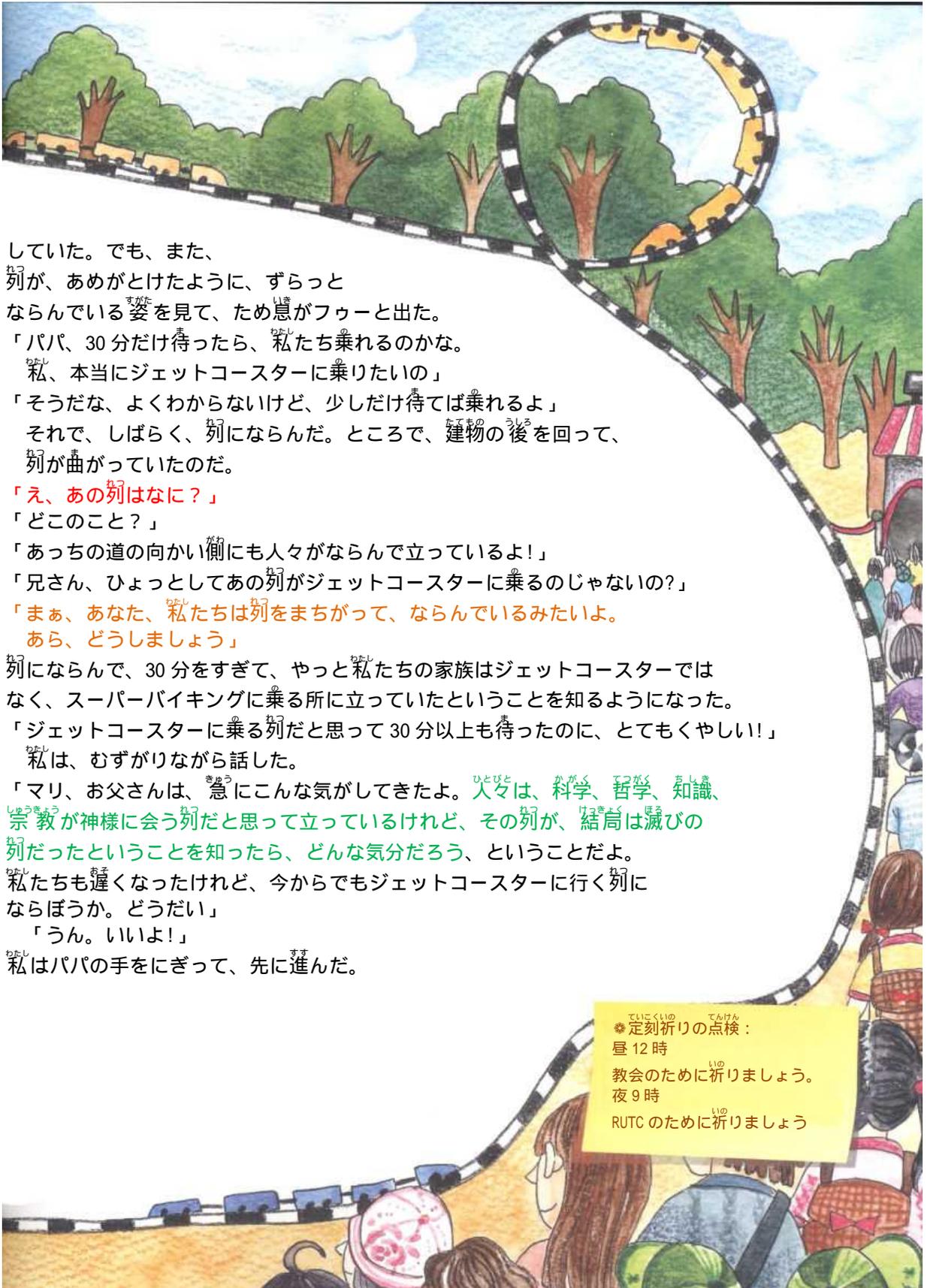
言<sup>い</sup>いながら、まわりをきよるきよる

見<sup>み</sup>まわした。遠<sup>とほ</sup>くに、ジェット

コースターが見<sup>み</sup>えて私<sup>わたし</sup>とシンジ

は、ママとパパの手<sup>て</sup>を引<sup>ひ</sup>いて、

わけもわからないで、ぼおっと



していた。でも、また、

列が、あめがとけたように、ずらっと

ならんでいる姿を見て、ため息がフーと出た。

「パパ、30分だけ待ったら、**私たち乗れるのかな。**

**私、本当にジェットコースターに乗りたいの。」**

「そうだな、よくわからないけど、少しだけ待てば乗れるよ」

それで、しばらく、列にならんだ。ところで、建物の後を回って、

列が曲がっていたのだ。

「え、あの列はなに？」

「どこのこと？」

「あっちの道の向かい側にも人々がならんで立っているよ！」

「兄さん、ひょっとしてあの列がジェットコースターに乗るのじゃないの？」

「まあ、あなた、**私たちは列をまちがって、ならんでいるみたいよ。**

**あら、どうしましょう？」**

列にならんで、30分をすぎて、やっと私たちの家族はジェットコースターではなく、スーパーバイキングに乗る所に立っていたということを知ることになった。

「ジェットコースターに乗る列だと思って30分以上も待ったのに、とてもやさしい！」

私は、むずがりながら話した。

「マリ、お父さんは、急にこんな気がしてきたよ。**人々は、科学、哲学、知識、**

**宗教が神様に会う列だと思って立っているけれど、その列が、結局は滅びの**

**列だったということを知ったら、どんな気分だろう、ということだよ。**

私たちも遅くなったけれど、今からでもジェットコースターに行く列にならぼうか。どうだい」

「うん。いいよ！」

私はパパの手をにぎって、先に進んだ。

ていにくいの  
定刻祈りの点検：  
てんけん

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう